

2004年10月29日

双日株式会社

メキシコ湾ガス田鉱区権益を取得

双日株式会社とアラビア石油株式会社（本社：東京都品川区、取締役社長：坂本吉弘、資本金：130億円）は、双日の全額出資子会社である NI ENERGY VENTURE, INC.（米国デラウェア州法人。本社：米国テキサス州ヒューストン市、取締役社長：寺西清一、資本金：25百万米ドル）が、アラビア石油の全額出資子会社の AEDC (USA) INC.（米国デラウェア州法人。本社：米国テキサス州ヒューストン市、取締役社長：横山佳生、資本金：12百万米ドル）から同社が米国メキシコ湾において保有している天然ガスに関わる権益（生産中の3鉱区を含む7鉱区。下記参照。）の譲渡を受けることに合意いたしました。

取得鉱区 : メキシコ湾ルイジアナ州沖合いガス田（MC 487、VR 70、VR 86、VR52、VR76、VR96、VR111）計7鉱区の100%権益
取得確認埋蔵量 : 約15bcfe（約425百万立方メートル）



【米国メキシコ湾海洋ガス・原油鉱区】

双日は、エネルギー上流分野における石油・ガス田の生産・開発事業を重点分野の一つとして掲げ、生産が既に開始されている「生産鉱区」、および石油・ガスの存在（埋蔵量）が既に確認されているものの生産には至っていない「開発鉱区」にターゲットを絞り、米国（メキシコ湾）、英国（北海）を始め、南米・アフリカ、中東、アジア等にリスク、ポートフォリオの分散を図りながら上流権益投資を展開しています。

今般取得する上述 7 鉱区を加えると、双日は米国メキシコ湾に合計 29 鉱区の石油・ガス田権益を保有することとなり、2005 年 4 月時点での生産日量は最大で約 48mmcfe（約 136 万立方メートル）となります。同地域は双日のエネルギー上流事業におけるコア地域の一つとして位置付けており、今後も引き続き優良鉱区権益の発掘、取得を行っていきます。

【本件に関する問い合わせ先】

双日株式会社 広報部 関口 TEL：03-5520-3404